

インドネシアに伝わる魅惑の影絵芝居劇
——ワヤン・クリ
ワヤン最強の武芸者カルノ誕生の物語。

第7回ワヤンの実演

カルノの誕生

Karna Lair マハーバーラタより

2015.9.26(土)

13:30開場 / 14:00開演(16:20終了予定)

※13:30より歓迎のガムラン演奏が始まります。

観覧無料 / 入退場自由 / 全席自由

会場 / 東京家政大学120周年記念館1階 多目的ホール

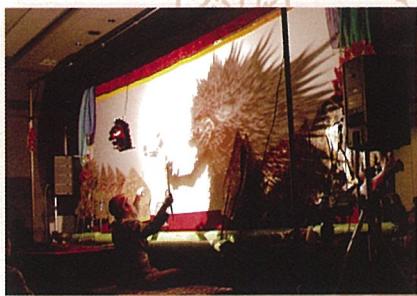
 東京家政大学博物館

ワヤンの実演

当館では平成19年に特別企画展「影と色彩の魅惑 ワヤン」を開催し、日本ワヤン協会主宰である松本亮氏が40年かけて収集されてきた膨大な「松本亮コレクション」の一部を皆様にご紹介しました。また、平成20年・26年には氏が所有するコレクションから、ワヤン人形を中心とした、合わせて1,000点を超す資料をご寄贈いただきました。

この貴重なワヤンの魅力を皆様に知っていただくため、当館では平成21年より、日本ワヤン協会の協力を得て実演を毎年行っており、今年で7年目になりました。

今回ご覧いただくのは、^{だいじょじし}膨大な大叙事詩マハーバーラタ初期の物語「カルノの誕生」です。カルノが主役の演目は、平成22年の第2回の実演「カルノの一騎討ち」でご紹介しました。数奇な運命をたどり、「カルノの一騎討ち」で果てることとなる武芸者カルノの誕生の物語です。実演は本場インドネシアで松本亮氏により録音された音声に日本語を重ねたテープを用います。



過去の実演の様子

カルノの誕生

演目解説

場所は由緒ある古王国マンドゥロの王城、その王宮の奥、この世にある花、ない花々の咲き誇り、芳香みちあふれる女の館。その池のほとりに、花より美しい女性がたたずんでいる。彼女の名はデウイ・クンティ。諸国の王達がこぞって彼女を迎えるようとしたが、クンティは婿選びの儀に出ることを拒み続けている。彼女は未婚の身でありながら、今はそのお腹に一人の子を宿しているのだ。だがこのマンドゥロの王城内でその妊娠に気付く者はだれもいない。少なくともクンティはそう思っていたのだが、ここに兄バスデウォが参入する。

クンティは急な兄の来訪に驚くが、そしらぬ顔で応待する。

「わざわざ女の館においてになつたご用は何なのでしょう。」と尋ねると、バスデウォは、「みずからの宮廷装飾の管理の役柄から不備な点はないか調べにきたのだ。」と切り出し、やがて「妹に会わなかつたこの七ヵ月ほどのあいだに男出入りがなかつたか。」と問い合わせる。クンティはおだやかに否定する。

バスデウォは言葉巧みに、脅したりすかしたりしながら、徐々に核心に触れていく。バスデウォは美しい妹がいまだ夫も持たずすでに妊娠していることを知っていたのだ。その実態、つまりその男が何者であるかを妹の口から引き出したかったのである。ついにクンティは妊娠を告白する。それは城門を乗りこえてきた外部の男の仕業ではなく、うっかり唱えてしまった護符により天から降下した太陽神スルヨによるものであると語る。しかも出産の時期は迫っているのだった。

これを聞いたバスデウォは、クンティが太陽神スルヨを招くことになった護符を教えた聖仙ブガワン・ドルウォソをここに呼ぶよう要請する。クンティはドルウォソを呼び入れるための護符を唱える。ドルウォソはクンティが徳をつむため仕えた師であり、彼はクンティにさまざまな護符を与えていたのだった。どこからともなく現れたドルウォソに向かい、「いまだ嫁いでいないクンティの処女性をこれ以上損なわないようにして赤ん坊を取り出してもらえまい。」とバスデウォは言う。ドルウォソは承知するが、条件があると言う。「もし通常のやり方でない方法で赤ん坊を取り出せた場合、この赤ん坊はそなたの手で育てることは叶わぬ、それでもよいか。」クンティの同意を得た後、ドルウォソは精神集中し、椰子の葉の芯を使って、クンティの左の耳から赤ん坊を取り出す。耳から取り出されたことで、この赤ん坊はカルノ（耳はジャワ語でカルノという）と名づけられた。

ほっと安堵の胸撫ぜおろすバスデウォ、そしてみずからの手で育てること叶わぬ若い母クンティ。クンティの激しい嘆きを後にして、ブガワン・ドルウォソは赤ん坊のカルノを抱き、螺鈿の箱に入れて、この場を去つてゆく。

螺鈿の箱には『バンバン・カルノ』の文字が記されている。その箱を抱き、ドルウォソはひたすら北へと歩みを続け、山の頂きから流れおちる七つの川の集結点に到り川に流す。螺鈿の箱は川をめぐり、いずこへとも知れず漂いゆくのだった…。

物語の登場人物



Begawan Druwasa ドルウォソ

ケンティに神を呼ぶ護符を与えた聖仙。
えいち
苦行により、叡智と強烈な呪力をそなえ
ている。ケンティのお腹の子を腹の中か
ら消してもらいたいと、バスデウォから
依頼を受ける。



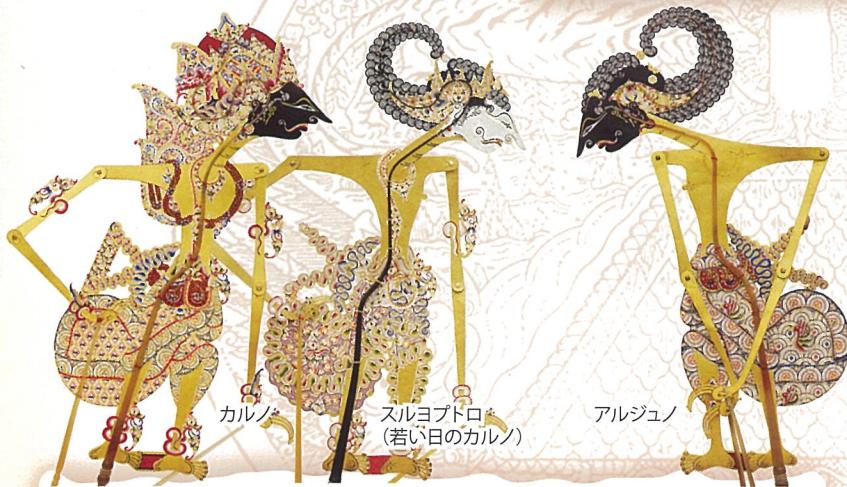
Dewi Kunti
クンティ

マンドゥロ国王ケンティボジョの美しい娘。未婚だが、不注意にベッドで神を呼ぶ護符を唱えたことにより太陽神スルヨと契り、妊娠してしまう。マハーバーラタの物語において、後の中心人物となるパンダワ五王子らの母となる人。



Basudewa
バスデウオ

クンティの兄。宮廷の管理を任せている。妹クンティが未婚のまま妊娠していると気付き、さらに婿選びの儀を拒み続けるのを怪しんで、王宮への男出入りがなかったかと話を聞き出そうとする。

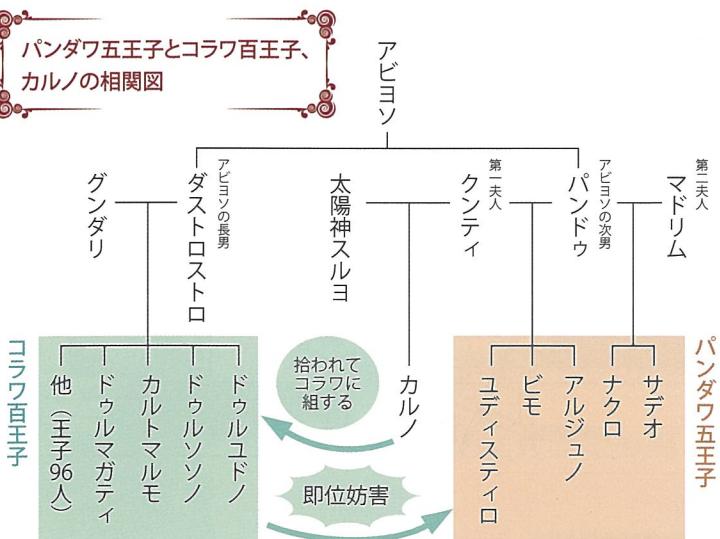


カルノ、その後の物語は…

太陽神スルヨと契り、カルノを誕生させたクンティイは、やがてアスティノ国へ嫁ぐことになる。一方、産み落されるや螺鈿の箱に入れられて川に流されたカルノ。彼はやがてアスティノ国王ダストロストロの駕者ぎょしゃに拾われて養育される。彼がその後はじめて母クンティイや父違いの弟たちであるパンダワ五王子の前に姿を見せるのは、アスティノ国で開催された武芸披露の場であった。カルノはそこで弟アルジュノと互角に戦い、国王ダストロストロの息子コラワ百王子の長男ドゥルユドノから目をかけられることになる。マハーバーラタはコラワ百王子とパンダワ五王子従兄弟同士の王位継承をめぐる悲惨な戦いを骨子とする。

カルノはつねに母のいるパンダワに心を寄せながらも、恩義を受けたコラワのためにパンダワを敵とし、大戦争バラタユダでは敗れるとわかつていながらも、アルジュノとの一騎討ちに臨むこととなる…。

カルノは太陽神スルヨの息子であることから、若い日はスルヨプトロと呼ばれ、その姿、その顔はアルジュノにそっくりである。



マハーバーラタはアスティノ国の王族内争いの物語なのじゃ

ワヤンの実演前には…

歓迎のガムラン演奏をお楽しみください！

ガムランは青銅や竹でつくられた打楽器や笛などによる合奏が特徴で、インドネシアを代表する伝統音楽です。本場ジャワ島ではワヤンの上演は、ガムランの前奏曲から始まります。前奏のあいだ、一晩の上演に思いを巡らしていたダラン（人形遣い）が、ワヤン収納箱を木づちで叩いて開始の合図を伝えると、いよいよ夜通しのワヤンの始まりです。

※ワヤンの上演は本来、ガムランの生演奏で行われますが、今回は現地で録音された音源を使用します。

表面と裏面、それぞれの魅力。

上演中は席の移動が可能です。ワヤンは人形操作を行うダラン側が表面で、影絵側は裏面です。裏面では影が織りなす幻想的な世界を、表面では1人のダランによる見事な人形さばきを観ることができます。両面それぞれに違った魅力があります。

※当日沢山のお客様が席を移動されます。席移動の際はお荷物をお持ちくださいますようお願いいたします。

Wayang Kulit



過去の実演の様子



キャスト・スタッフ

実演：日本ワヤン協会

オリジナル：キ・スティノ

日本語版語り：竹内弘道

ジャワ語和訳：松本 亮

人形操作(ダラン)：中辻 正

ガムラン前奏：ランバンサリ有志

博物館のご案内

秋の特別企画展

「嫁ぐ日・晴れの日・華やぐ日

- 和装・洋装の花嫁 -

◆期間◆

平成 27 年 10 月 15 日(木)～11 月 19 日(木)

◆開館時間◆

9:30～17:00

◆会場◆

東京家政大学百周年記念館 5 階 博物館展示室

◆入館無料◆

※詳細はホームページ・チラシ等で順次お知らせします。



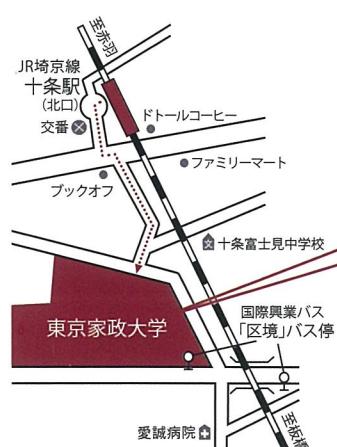
昭和初期の婚礼衣装



1880 年代のウェディング・ドレス
(イギリス)

交通案内

◆JR 埼京線十条駅(北口)より十条門まで徒歩 5 分



※十条門より会場まで徒歩 3 分
※正門におまわりいただくと分かりやすいです



◆お問い合わせ先◆

東京家政大学博物館

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 Tel. (03)3961-2918
<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutsu/>